

故郷 例解

課題 この作品には『故郷』という題名がつけられています。作者である魯迅は、どんな思いを込めてこの題名をつけたのか考えなさい。

その前に

① 「私」の中にある「美しい故郷」とは、どんなものでしたか。

を埋めなさい。

少年の頃の ル ン ト ウ といっしょに過ごした

思 い 出 の中にある故郷。

② 「私」の「故郷」に対する思いとして、最もふさわしいものは、次のア～ウのどれですか。

イ

ア 少年時代の思い出を捨て切れず、故郷をあとにして引越してしまふことを、とても名残惜しく思っている。

イ 出会った人々はすっかり変わってしまったが、三十年もの間、実は何ひとつ変わっていなかった故郷に気づき、その変革を望んでいる。

ウ 新しい世代に対して新しい生活を願うものの、中国社会はいつまでも変わらず、故郷もこのままだろうとあきらめている。

(例)

作者である魯迅（「私」）がこの題名に込めたのは、

● 『故郷』という題名に込められた作者の思いを、次の書き出しに続けて、百二十字以内でまとめなさい。

手順 初めに、書き出しに続けて「　　という思いだ。」と言い切り、次に、そう考える理由を「なぜなら～からだ。」の形でまとめる。（二文に分けて書く）

年 組 番 名前

	希	い	活	た	っ	ら	し	な	若
	望	世	を	が	た	、	い	い	い
	が	界	も	、	故	す	と	幸	世
	生	に	つ	若	郷	っ	い	せ	代
	ま	変	こ	い	の	か	う	な	に
	れ	わ	と	世	人	り	思	世	、
	た	り	に	代	々	変	い	界	故
	か	う	よ	が	に	わ	だ	に	郷
	ら	る	っ	新	は	っ	。	変	を
	だ	と	て	し	失	て	な	え	、
	。	い	、	い	望	し	ぜ	て	壁
		う	よ	生	し	ま	な	ほ	の